

令和あらたに神田紅独演会！泉鏡花没後80年記念公演

第11回



神田紅

かん

だ

くれな

滝の白糸

（義血侠血）
2019

お馴染み芝居講談

本邦初演創作講談

絵草紙 月夜遊女

ゲスト

令和元年春 紫綬褒章受章

アニメーション作家
山村浩二

1964年、名古屋市生まれ。アニメーション作家・絵本作家。映画芸術科学アカデミー会員、東京藝術大学教授。「頭山」がアカデミー賞短編アニメーション部門にノミネート。短編アニメーション「カフカ 田舎医者」「マイブリッジの糸」など。

独演会



かん だ べに か
神田紅佳

平成25年5月 神田紅に入門。平成29年10月 ニッ目に昇進。よく食べ、よく笑い、大きな声に自信あり、あらゆるジャンルに果敢にトライの雑食系です。

たいこう そろり
『太閤と曾呂利』

◆日時 令和元年（2019年）
9月26日（木） 開場 18:00
開演 18:30

◆場所 国立演芸場
東京都千代田区隼町4-1 ☎03-3265-7411(代)

◆木戸銭 4,000円 ※全席指定



問合せ
申込み

(株)クロスポイント

☎03-3586-5020 ✉crosspointo701@gmail.com
〒107-0052 東京都港区赤坂2-8-13-701 (平日11時~17時)



協力：金印倶楽部

ご挨拶

今年には泉鏡花没後80年にあたる年です。1982年「鬼の角」を芝居講談として発表して以来、リズムカルな鏡花の文体に魅せられて「滝の白糸」「高野聖」「旅僧」「風流線」等を創作講談として語って参りました。

そんな昨年、みついひろみさん企画編集の「絵草紙 月夜遊女」(平凡社)に出会い、是非これを創作講談にと思い立ちました。少々難解で不思議な物語です。そこでアダム・カバットさんに校註の労をとっていただき、さらにこの物語には山村浩二さんの挿絵が絶対に必要!と、今年紫綬褒章を受章されたアニメーション作家の山村さんにゲスト出演までお願いしてしまいました。

前講は、古典講談「太閤と曾呂利」を弟子の紅佳が語ります。

そして紅の芝居講談でお馴染みの「滝の白糸」を令和元年心あらたに語ります。山村浩二さんとのトークを挟んで、いよいよ本邦初演「絵草紙 月夜遊女」を挿絵入りでたっぷりとお楽しみくださいませ。

神田 紅

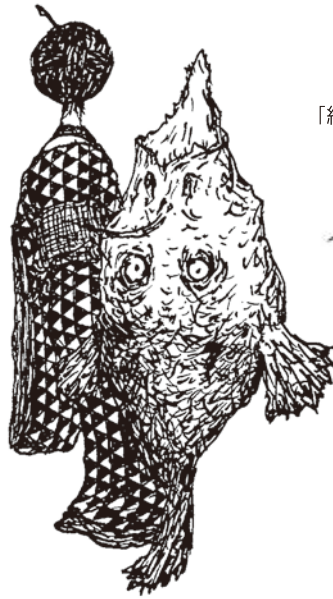


プロフィール

福岡出身。早稲田大学中退。文学座附属演劇研究所を卒業後、二代目神田山陽師匠に出会い弟子入り。1989年真打昇進、古典と同時に創作講談や芝居講談を手がける。2008年、小惑星(12769)が「kandakurenai」と名付けられる。

日本講談協会会長。金印倶楽部金印大使。

<http://kandakurenai.com/>



「絵草紙 月夜遊女」より



いずみ きょうか 1873(明治6)年～1939(昭和14)年。江戸文芸の影響を受けつつ、明治・大正・昭和にわたり活躍した小説家。近代幻想文学の先駆者。石川県金沢市生まれ。尾崎紅葉に師事し、21歳の時「義血侠血」を読売新聞に連載。33歳で「月夜遊女」を「太陽」に発表。「月夜遊女」物語の舞台は逗子。その頃鏡花は逗子に療養に来ていた。

ゲスト アニメーション作家 山村浩二

やま むら こう じ



プロフィール

1964年愛知県生まれ。1987年東京造形大学卒業。90年代「バクシ」「パベルの本」などNHKなどで子供向けのアニメーションを制作。2002年に第75回アカデミー賞®短編アニメーション部門にノミネートされた「頭山」以降、「年をとった鰐」「カフカ田舎医者」「マイブリッジの糸」など大人向けの短編アニメーションを制作。それらのアニメーションは、アヌシー、ザグレブ、オタワ、広島の大映画祭でグランプリを受賞など90以上の映画賞を受賞。DVDが5カ国で出版。国際審査員、回顧上映など多数。2005年愛知万博で「ヤマムラアニメーション博物館」展示。

絵本作家としても活躍、「おやおや、おやさい」(福音館書店)「ばれーど」(講談社)など60タイトルを出版。20の海外翻訳がある。また2017年、NHK おかあさんといっしょ「べるがなる」の作詞を手がける。

著書に「アニメーションの世界へようこそ」(岩波書店)、「創作アニメーション入門」(六耀社)、「絵草紙 月夜遊女」(平凡社)他多数。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2019年紫綬褒章受賞。米国アカデミー賞(映画芸術科学アカデミー)会員、東京藝術大学教授。

演目

18:30 ◆神田 紅佳 へにか たいこう じょ

『太閤と曾呂利』

関白となった太閤秀吉は、機知に富む曾呂利新左衛門をお側に置いていた。新左衛門の得意即妙な助言が、秀吉の窮地を救う。落語にもある物語。

18:50 ◆神田 紅 くれなひ

お馴染み芝居講談

『滝の白糸(義血侠血) 2019』

初演は1984年。師匠二代目神田山陽も出演した6人編成の芝居講談だったが、後には紅一人で演じています。石川県金沢市を舞台に、水芸人滝の白糸と村越欣弥の運命の出会いに始まり、悲劇の結末までを原文入り講談で熱く語ります。

仲入り

19:20 ◆ゲスト アニメーション作家 山村浩二 やまむら こうじ

対談

落語「頭山」のアニメーション作家として知られる山村浩二氏の、アニメーションへのこだわりや「絵草紙 月夜遊女」への思い、挿絵の苦労や見どころなどを紅が伺って行きます。

◆神田 紅

本邦初演 創作講談

『絵草紙 月夜遊女』

血気盛んな若者・音吉が、鮫鱈を横浜の間屋に運ぶ途中に、どうしても肝が食べたいと言いつつ、月の妖しい夜、鮫鱈の口から手を入れると、何と美女が現れ出て……。

挿絵 山村浩二
校註 アダム・カバット
協力 平凡社
協力 みついひろみ(企画編集)

20:40(終演予定)

20:00

19:35

19:20

18:50

18:30